

平成 27 年度 入学式式辞

三河湾から吹く風には暖かさを感じ、山々には新しい芽が吹き、春の装いとなりました。まさに若さあふれる陽春の本日ここに、PTA会長の日暮佳久(ひぐらしよしひさ)様を始め多数の保護者の皆様にご臨席を賜り、平成二十七年度の入学式を挙行し、希望に満ちた新入生を迎えることができましたことは、本校においては限りない慶びであり、関係する全ての方々に、あらためて、心から感謝申し上げます。

先ほど、入学を許可いたしました本科生一六〇名、専攻科生十九名の新入生の皆さんに、あらためて入学のお祝いを申し上げます。

私達は、皆さんの入学を心待ちにしていました。皆さんは、新しく制定した制服を身にまとう、輝かしい第一号の入学生となります。「原点回帰と新たなスタート」のテーマの下、本校職員はもとより、同窓会やPTAの皆様など、多くの方々からご意見をいただき、制服の変更を検討してまいりました。県下唯一の水産高校である、この三谷水産高校で学ぶことを誇りに思い、水産・海洋技術者の養成校としてふさわしい制服を、との願いを込めた制服であります。人間は唯一服を着る動物であり、着る服によって人間性に変化を与えることができると言われています。この制服を着て本校で学び、この学校から、海洋大国日本を支える優秀な人材が輩出されることを願っています。

NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」のヒロインの兄で、幕末の偉大な教育者である吉田松陰は「志定まれば、気盛んなり」という言葉を残しています。その意味は「人は目標が決まれば、意気が高まり、その実現に向けて全力を尽くすことができる。」と解釈できます。また、

「Boys, be ambitious (少年よ大志を抱け)」はクラーク博士が札幌農学校(今の北海道大学)を去る際に、贈った言葉として有名ですが、この言葉には続きがありました。「Boys, be ambitious like this old man」です。これは「この老人のように、あなたたち若い人も大志を抱け」という意味になります。私はこの水産高校を日本一の水産高校にしたい、という大志を持っています。日本の水産技術は世界最高水準ですから、日本一ということは世界一でもあります。そこで皆さんに次の言葉を贈りたいと思います。私はまだ自分のことを老人というには抵抗がありますので、

「Boys and girls, be ambitious like this man」

本校は、創立以来七十有余年にわたる長い歴史と伝統を持った県下唯一の水産高等学校です。同窓生の数はまもなく一万人を超えます。昨年度は、専攻科海洋技術科「情報通信コース」が、第一級総合無線通信士の国家試験における「電気通信術」の試験科目を免除する学校として、全国で初めて認定されました。全国で年間に十数名しか合格できない超難関の国家試験の一部が免除されるという、大変な快挙であります。これはまさに、本校の教育活動の取組や、その期待に応えた先輩方の国家試験合格実績などが、総合的に評価された結果です。まだ他にもあります。水産食品科や製造部と、平松食品が共同で開発した「愛知丸ごはん」は二〇一四年のモンドセレクションで金賞を受賞しました。また、海洋資源科や増殖部が「がまごおり産

学官ネットワーク会議」と取り組む「クロアワビ完全閉鎖型陸上養殖プロジェクト」は、成功すれば日本初の快挙となりますが、すでに五 cm を超える個体もあり、多くの期待が寄せられています。

皆さんも本校に入学した限りは、先輩方の後継者としての誇りを持ち、社会で活躍するという強い決意で、これから努力していただきたいと思います。勉学は言うに及ばず、生徒会活動や部活動など、これからの高校生活に全力で努力する決意を持って、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。そうすれば、きっと皆さん一人一人の目標が見つかると思います。そして、「私は三谷水産高校生だ」という、誇りと自信を持って、高校生活を送ってください。

最後に、皆さんの高校生活を充実させるために、次の言葉を贈りたいと思います。「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉で、昨年度から継続する本校の重点目標です。例えば、遅刻をしない、掃除をしっかりと、気持ちよい挨拶をする、この当たり前の行動の積み重ねが、人間性を高め、将来、社会に出た時に、どこでも活躍できる人材となるものと確信しています。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。私どもに寄せられている大きな期待をしっかりと受け止め、お子様の成長にとって何が大切なのか、何が必要なのかを共に考えながら、教職員一同、一丸となってお子様一人ひとりの自己実現のために努力を惜しまない覚悟でございます。また、地域から愛され信頼され、地域とともに発展する、元気な学校づくりを進めてまいります。今後とも絶大なるご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

平成二十七年四月六日
愛知県立三谷水産高等学校長
丸崎 敏夫